

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公表番号】特表2020-502909(P2020-502909A)

【公表日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-003

【出願番号】特願2019-531066(P2019-531066)

【国際特許分類】

H 04 L 1/00 (2006.01)

H 04 W 80/02 (2009.01)

【F I】

H 04 L 1/00 F

H 04 W 80/02

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月11日(2020.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

送信機によるワイヤレス通信のための方法であって、

前記送信機から行われるべき送信に関連する1つまたは複数の条件を検出するステップと、

前記検出に基づいて、前記送信を処理する間、利用可能なリソースにわたってコードブロックを拡散させるために使用されるインターリーバを無効にすることを決定するステップとを含み、

前記検出するステップが、

前記送信のためのリソースブロック(RB)の割振りが、あらかじめ規定された閾値RB割振りより小さいことを検出するステップ、

前記送信のための決定されたトランスポートブロック(TB)のサイズが、あらかじめ規定された閾値TBサイズより小さいことを検出するステップ、または

特定のリソース割振りタイプが、前記送信のために使用されるべきであることを検出するステップ

のうちの1つまたは複数を含む、

方法。

【請求項2】

前記検出するステップが、1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別されるアプリケーションに前記送信が関連していることを検出するステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別される前記アプリケーションに前記送信が関連していることの表示を対象受信機に送信するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記送信を処理する間、前記インターリーバが無効にされたことの表示を対象受信機に送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 5】

受信機によるワイヤレス通信のための方法であって、

送信機から受信された送信に関連する1つまたは複数の条件を検出するステップと、

少なくとも前記検出に基づいて、前記送信を処理する間、利用可能なリソースにわたってコードブロックを拡散させるためにインターリーバが使用されたかどうかを判断するステップと、

前記判断に基づいて、前記受信された送信のコードブロックをデインターリーブするか否かを決定するステップとを含み、

前記検出するステップが、

前記送信のためのリソースブロック(RB)の割振りが、あらかじめ規定された閾値RB割振りより小さいことを検出するステップ、

前記送信のために使用されたトランsportブロック(TB)のサイズが、あらかじめ規定された閾値TBサイズより小さいことを検出するステップ、または

特定のリソース割振りタイプが前記送信のために使用されたことを検出するステップのうちの1つまたは複数を含む、

方法。

【請求項 6】

前記検出するステップが、1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別されるアプリケーションに前記送信が関連していることを検出するステップを含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

前記1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別される前記アプリケーションに前記送信が関連していることの表示を、前記送信機から受信するステップをさらに含む、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

前記送信を処理するために前記送信機において前記インターリーバが使用されなかったことの表示を前記送信機から受信するステップをさらに含む、請求項5に記載の方法。

【請求項 9】

送信機によるワイヤレス通信のための装置であって、

前記送信機から行われるべき送信に関連する1つまたは複数の条件を検出するための手段と、

前記検出に基づいて、前記送信を処理する間、利用可能なリソースにわたってコードブロックを拡散させるために使用されるインターリーバを無効にすることを決定するための手段とを含み、

検出するための前記手段が、

前記送信のためのリソースブロック(RB)の割振りが、あらかじめ規定された閾値RB割振りより小さいことを検出すること、

前記送信のための決定されたトランsportブロック(TB)のサイズが、あらかじめ規定された閾値TBサイズより小さいことを検出すること、または

特定のリソース割振りタイプが、前記送信のために使用されるべきであることを検出すること

のうちの1つまたは複数を含む、

装置。

【請求項 10】

検出するための前記手段が、1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別されるアプリケーションに前記送信が関連していることを検出するように構成される、請求項9に記載の装置。

【請求項 11】

前記1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別される前記アプリケーションに前記送信が関連していることの表示を対象受信機に送信するため

の手段をさらに含む、請求項10に記載の装置。

【請求項 1 2】

受信機によるワイヤレス通信のための装置であって、
送信機から受信された送信に関連する1つまたは複数の条件を検出するための手段と、
少なくとも前記検出に基づいて、前記送信を処理する間、利用可能なリソースにわたってコードブロックを拡散させるためにインターリーバが使用されたかどうかを判断するための手段と、

前記判断に基づいて、前記受信された送信のコードブロックをデインターリーブするか否かを決定するための手段とを含み、

検出するための前記手段が、

前記送信のためのリソースブロック(RB)の割振りが、あらかじめ規定された閾値RB割振りより小さいことを検出すること、

前記送信のために使用されたトランsportブロック(TB)のサイズが、あらかじめ規定された閾値TBサイズより小さいことを検出すること、または

特定のリソース割振りタイプが、前記送信のために使用されたことを検出することのうちの1つまたは複数を含む、

装置。

【請求項 1 3】

検出するための前記手段が、1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別されるアプリケーションに前記送信が関連していることを検出するよう構成される、請求項12に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記1つまたは複数の他のアプリケーションより高い優先度を有するものと識別される前記アプリケーションに前記送信が関連していることの表示を前記送信機から受信するための手段をさらに含む、請求項13に記載の装置。

【請求項 1 5】

実行されると、請求項1乃至8のいずれか一項に記載の方法を実行するためのコードを含む、コンピュータプログラム。